

『あなたが私とともにおられますから』 詩篇23篇1～3節 2016.11.13(聖日礼拝説教より)

『わたしがわたしの羊を飼い、わたしが彼らをいこわせる。一神である主の御告げ—わたしは失われたものを捜し、迷い出たものを連れ戻し、傷ついたものを包み、病気のを力をづける…』 エゼキエル34章15～16節

◆詩篇 23 篇には、人生という荒野で迷い、戸惑い、途方に暮れる私たちが正しく生きるための道が記されている。

❶**主は私の羊飼い！** 羊は臆病で弱く、視野が狭く方向音痴で帰り道を見失う。しかも頑固で自分勝手！気がつけば群れを離れて命を失う。まさに人の姿！『私たちはみな、羊のようにさまよい、おのおの、自分かつてな道に向かって行った(イザヤ 53:6)』。そんな私たちを養い育て導き、命を守るのが羊飼い。羊の命は 100%羊飼いに依存する！『主は私の羊飼い』は、羊飼いなしには生きられない自分の弱さを知った者の驚くべき信仰告白である。

❷**足るを知る！** 自分を育み・守り・導く「羊飼い」を知った者の生涯の最大の特徴は『乏しいことがない』！荒野の乏しさ・厳しさを知り尽くすイスラエルの民が『必要なものは全部持っている』と言えたのは何故か？『…主は、この広大な荒野の旅を見守ってくださった。あなたの神、主は、この 40 年間あなたと共におられ、あなたは何一つ欠けたものはなかった(申命 2:7)』！この体験こそ、あらゆる境遇における神の民の確信だった！パウロも言う『…私は、どんな境遇にあっても満ち足りることを学びました。私は、貧しさの中にいる道も知っており、豊かさの中にいる道も知っています(ピリピ 4:11～12)』。贅沢を言えばきりが無い。しかし羊飼いと共に歩む道には、今持っているものに満足する幸せがある(ヘブル 13:5)！

❸**羊飼いが与える3つの祝福！**

①『緑の牧場に伏させ』…『伏させ』とは休息・安眠。多忙で疲れ、イライラの毎日が、羊飼いの御声を聴き、導かれ、心は安息へ。②『憩いの水のほとりに伴われる』。「憩い」とは「静けさ」。世の喧騒を逃れて静まり、リフレッシュされて自分を取り戻す！③『魂を生き返らせ』『魂』の原意は『喉』。ストレスと苦難一杯の人生の「荒野」で喉は渇き「死にそ〜」！一杯の水で「生き返った〜」！牧場で憩わせ、その懐で魂の渇きを癒し、慰め、元気回復してくださる羊飼い(上記の御言葉を実現された方)とは、天から降られたイエス様のこと！

★今週、自分の羊飼いの導く声をしっかりと聴き、安心・安全・祝福の道に歩むにはどうすればいい？